

一般質問通告書

通告順番 1 番
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 町内にある文化財の保護・保存・顕彰について</p>	<p>(1) 町内にある数多くの文化財を保護・保存していくための取り組みについて。</p> <p>(2) 多くの人々に文化財の価値を伝えていくための地域文化財顕彰制度の創設について。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 町文化財ガイドボランティア養成の取り組みについて</p>	<p>(1) 町民自らが我が町を知り、語り伝えていく中で人々が結び合い交流が図られていくのではないかと。そのような環境をつくるためにも、町文化財ガイドボランティアの養成を行うべきではないかと。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. スマートフォン等を活用した町民と行政をつなぐ連絡体制の構築について</p>	<p>(1) スマートフォン等を使って路面の陥没や公共施設の破損などの不具合を町に通報できる仕組みを構築すべきではないかと。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 病院の誘致を	<p>(1) コロナ対応専門病院の誘致を将来を見据えてすべきではないか。 九州の1か所に、1万人収容できる国立の伝染病対応能力のある病院が必要不可欠であり、九州の中心地の我が町に誘致をするべきではないか。 1か所で複数の診療が出来る総合病院が役場近くにあれば、高齢者にとっては助かるので、どうにかならないかと高齢者から相談された。 大津町には総合病院も産婦人科もないのは、町にとっては問題である。</p>	町 長
2. 避難所通路の再点検を	<p>(1) 8月8日、台風接近で高齢者等避難が出たので、町民が避難所へ避難する時に怪我をして救急車で病院へ搬送された。 高齢者の為に全避難所通路の点検をすべきではないか。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 3 番
 通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 自衛隊に対する町長の認識と自衛官募集、防災への協働の推進について</p>	<p>(1) 自衛隊に対する町長の認識は。</p> <p>(2) 自衛隊法第97条に定める都道府県等が処理する事務についてどのような業務を行っているか。また自衛官募集の推進について、ポスターや看板の設置を新たな役場庁舎ではどのように行うか。また、自衛隊熊本地方協力本部や町内募集相談員との連携は。 大津町を隊区とする北熊本第42即応機動連隊との情報共有への動きは、また防災での協働を行うにあたりどのような活動を実施しているか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 新学習指導要領をふまえた教育体制の推進について</p>	<p>(1) 文部科学省より平成29年3月告示のあった新学習指導要領は、2020年から小学校が、2021年から中学校が施行実施しているところだが、それぞれの学校現場からの評価や意見はどのようなものが上がっているか。</p> <p>(2) 教員の負担軽減を視野に部活動の社会体育への移行などの施策があったと思うが、教育現場ではICTの導入に加え新型コロナウイルス対策などに忙殺される等過重な労働環境となっていないか。業務の軽減を考慮し質の高い教育が実施できるよう部外からの講師を招へいする考えはないか。</p> <p>(3) コミュニティスクール制度が逐次浸透し学校と地域の連携が強固になりつつある。様々な取り組みがボランティアを中心に醸成されているが、専門性の高い授業の内容を無償で依頼しているような事案は無いか。</p>	<p>教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 4 番
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 子育て支援日本一のまちづくり 子どもへの国保税 均等割課税免除 給食費無償化 多子世帯から</p>	<p>(1) 厚生労働省は、来年度から国民健康保険（国保）に加入する未就学児の均等割り課税を半額にして少子化対策、子育て世帯の負担軽減を図るとしている。コロナ感染が長引き拡大する中、国保加入世帯の生活はますます厳しくなっている。子育て支援日本一に見合った18歳以下の子どもへの課税は、無くすべきではないか。</p> <p>(2) 就学援助世帯数(人数)の推移は、どうなっているか。 給食費無償化 まず多子世帯から実施するべきではないか。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>
<p>2. コロナ禍での暑さ対策 生活困窮者などへのエアコン助成を</p>	<p>(1) 今年の夏は猛暑の後、長雨が続き、少しは暑さも和らいだようだが、気候変動の影響もあり、毎年の猛暑が予想される。特に生活に困窮されている方や高齢者家庭の方でエアコンを希望される家庭にエアコン設置補助が必要と考える。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 5 番
 通告者 田代 元気 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 大津町運動公園について	<p>(1) 大津町運動公園（スポーツの森・大津）球技場、競技場の芝について、管理費に見合った運営がなされていないと思う。</p> <p>①昨年からはコロナ禍により利用者が減少したと思うが、年間でどの程度の利用があるのか、また養生期間等による利用の制限はどうなっているのか伺う。</p> <p>②来年度以降も今年度同様の方法で管理していくのか考えを伺う。</p> <p>(2) 多目的広場（人工芝コート）について、平日・週末問わず利用されているが、急な雷雨等により避難する場所がコート西側のトイレしかない。今後、利用者を守る観点から建屋等の整備が必要と思うが、考えを伺う。</p>	町 長 教 育 長
2. 成年年齢引き下げについて	<p>(1) 令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられる。本町での検討や対策はどのように行うのか。</p> <p>①拡大が予想される消費者被害などへの教育や広報はどのように行うのか。また、現状はどうなっているのか伺う。</p> <p>②成人式の開催方法はどのように考えているのか伺う。</p>	教 育 長

一般質問通告書

通告順番 6 番

通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 少子化対策について	<p>(1) 昨今の若い夫婦にとって、子供を産み育てていくための経済的負担や、働く女性に対する企業や社会の理解の遅れ、その中でも最もOECD加盟国に比べ遅れているのが、行政による子育て支援の脆弱さである。大津町は、子ども医療費18歳無償化や病児保育事業など、全町あげて取り組んではいるが、出生率は年々低下しており、先進地の兵庫県明石市などに比べれば、まだまだ立ち遅れている。今後「子育て支援・教育環境日本一」を目指す上で「アウトリーチ型の支援」など、まだまだやるべきことがあるのではないかな。</p> <p>以上を踏まえ 町長の見解を問う。</p> <p>①兵庫県明石市では市内の0歳児にオムツを無償提供する方針を固め、母子の健康状態や虐待の有無をチェックする見守り活動と合わせたアウトリーチ型の支援「おむつ宅配便」を始めたが、本町でも導入するべきではないかな。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 6 番
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2. コロナ感染防止対策について</p>	<p>(1) 現在デルタ株が年齢に関係なく急速に広がり学校などでのクラスターが非常に懸念される。このままでは、熊本も医療崩壊が起こるのは時間の問題。またオリンピック関係者のラムダ株感染も確認されており、オリンピックやパラリンピック開催による楽観バイアスが強まり「緊急事態宣言」が意味をなさなくなっている。具体的な対策が必要。ペルーでは7月10日までに19万7千人以上が新型コロナ（ラムダ株）で死亡しており、致死率は9%を超え人口10万人あたり死亡者数は世界で最も多い。吸入用酸素の不足や医療体制の脆さなども原因と言われているが、それは日本も同じ状況ではないか。ワクチン頼みだけでは町民の命を守ることができない。以上のことを踏まえ、町はすべての町民の命を守るという覚悟を持って対策を強化していかなければならない。町の見解を問う。</p> <p>①現在、小中高校で感染拡大が続いており、一番の懸念は学校などでクラスターが発生し、家族間で感染が広がるという問題があるが、今後の学校運営(休校や部活動など)はどのように行うのか。</p> <p>②今後、熊本県でも医療崩壊の危険性があり、総合病院のない本町で町民の命を守る対策が必要ではないか。町独自に体育館などを利用した野戦病院を設置すべきではないか。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 7 番
 通告者 三宮 美香 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. スポーツ及び文化における要綱の整備</p>	<p>(1) 令和元年12月議会で大津町ゆかりのスポーツ選手を応援して盛り上げようという趣旨の質問をした。回答として「大津町ゆかりの方々の活躍は全国や世界に向けた大津町のPRにもなる。町としてできる限りの支援体制を整えていきたい。」とあり更に、「来年度の予算関連等で検討させていただければ」とも答弁されている。 その後の町の方向を確認したい。</p> <p>①肥後おおづスポーツ文化コミッションでの調査研究結果は。</p> <p>②要綱の整備がされていないことによる不具合は。</p> <p>③地域や関係団体との協力体制作りは。</p>	<p>教育長</p>

一般質問通告書

通告順番 8 番

通告者 西川 秀貢 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 大津町小規模企業振興条例制定について</p>	<p>(1) 本町において、小規模企業振興条例が未だ制定されていない訳は。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 9 番
 通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 子育て支援と少子化対策について	(1) 町の支援策は全国的にも当たり前で出生数増加に寄与するものではなく子育て負担軽減策である。中学校までの支援策では出生数は増えないし教育費は子が大きくなるほど膨らむのである。 子育て支援と少子化対策が繋がらず目的が問われている。	町 長 教 育 長
2. 高齢化対策について	(1) 介護サービスの給付拡大が止まらない、利用者負担を除いた給付費は2020年度に10兆円を超えた。介護にかかる費用の膨張は続いていて制度の持続性を確保するために政府は8月から所得の高い高齢者の自己負担を増やした。有効な介護給付抑制策が望まれる。	町 長

一般質問通告書

通告順番 10 番
 通告者 坂本 典光 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 川の水を汚すな</p>	<p>(1) 日本列島は山が多く、雨もよく降る。 清らかな水が川となり、海に流れ込む自然豊かな島国である。 大津町で新しく家を建てるには生活排水を下水道に流すか合併浄化槽で浄化処理をして水路に放水する必要がある。 生活排水を直接川に流していたころに比べたら確かに川は綺麗になった。 しかし魚が川に戻ってきたというレベルではなさそうだ。 清らかな川、緑の景色は将来のインバウンドにもつながる。</p> <p>①菊池環境保全組合処理施設への搬入が禁止されている灯油、混合油、廃油などが下水道に流されていないか。</p> <p>②下水道浄化に悪影響を及ぼす天ぷら油の処理はどのようにしているか。 洗剤、石鹼、シャンプーの使い過ぎ。カップラーメンの汁の処理など問題は多い。安易に流さないように広報などで常時注意を呼び掛けているか。 気が緩まないように定期的にキャンペーンを行うのも良いと思う。</p> <p>③学校で子どもたちには水を汚さないように教えていると思うがいかがか。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 11番
 通告者 佐藤 真二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 若者のスタートをマイナスからにしないため、将来負担についてどう認識するか</p>	<p>(1) 人口減少・所得減少の中で、従来の地方債の考え方は通用しない。若年層は社会保障負担においてもすでに不公平感・絶望感を感じている。将来負担をツケ回しにしないためにどのような考え方をすべきか。</p> <p>①人口ビジョンの推計値（合計特殊出生率）はやや楽観的ではないか。</p> <p>②世代間の負担平準化や単純な町内事業者優先などの従来の考え方では、将来負担は相対的に大きくなる。起債、過大投資の適正化を図るためどう取り組むか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. トイレtp紙と生理用品はどう違うか</p>	<p>(1) 多様な教育機会の保障は必要ではあるが、現状では学校は多くの子どもにとって「行かなければならない場所」だ。しかし、生理用品を買うことができないとの事情で学校に行くことをためらう子どもがいるとも言われている。生理の貧困への取り組みが各地で行われている。学校に生理用品をトイレtp紙と同様に常備することはできないか。</p>	<p>教 育 長</p>